

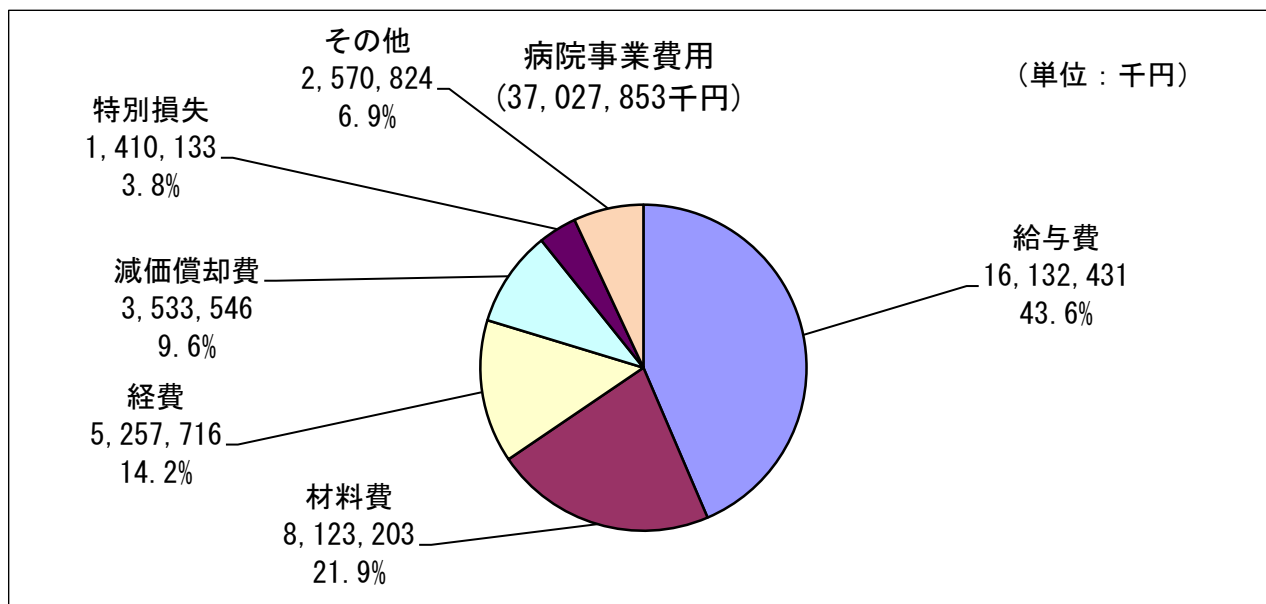
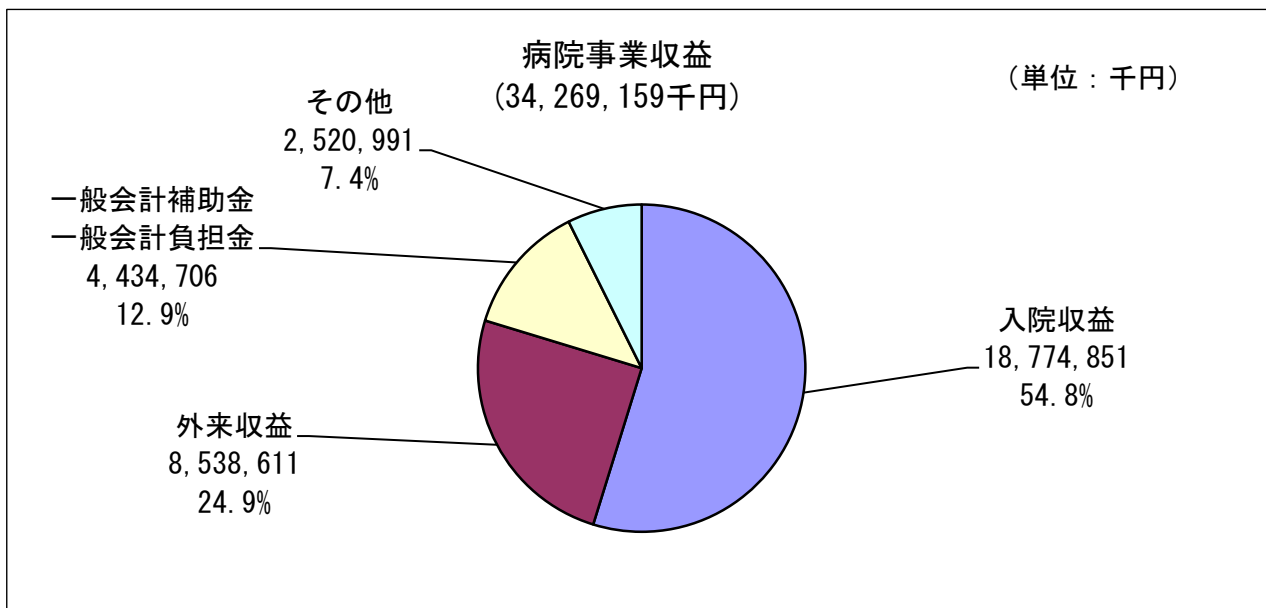
名古屋市病院事業会計 令和元年度決算の概要

1 病院事業全体の収支

名古屋市病院事業は、東部医療センター、西部医療センター及び緑市民病院（指定管理者による運営）の3市立病院を設置し、市民の皆さまに医療の提供を行ってまいりました。

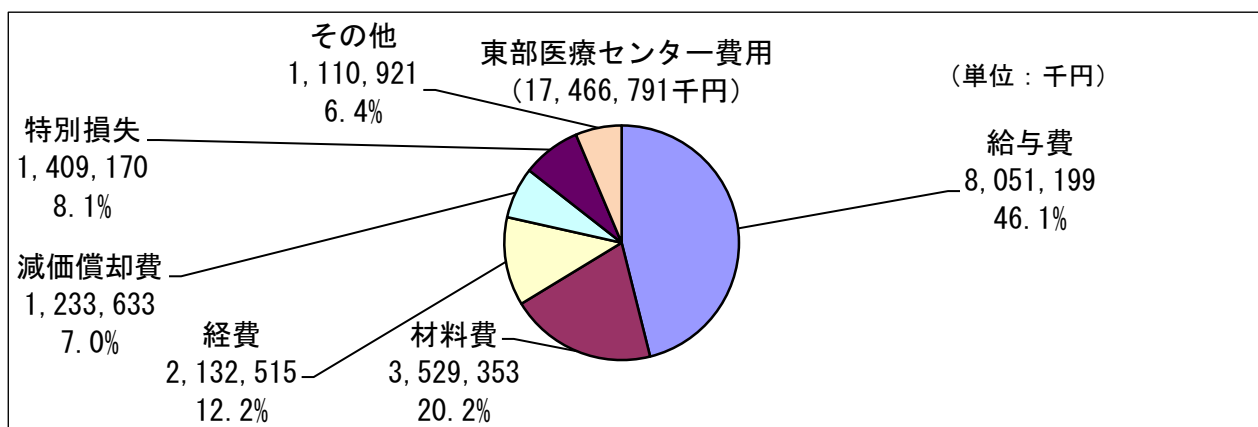
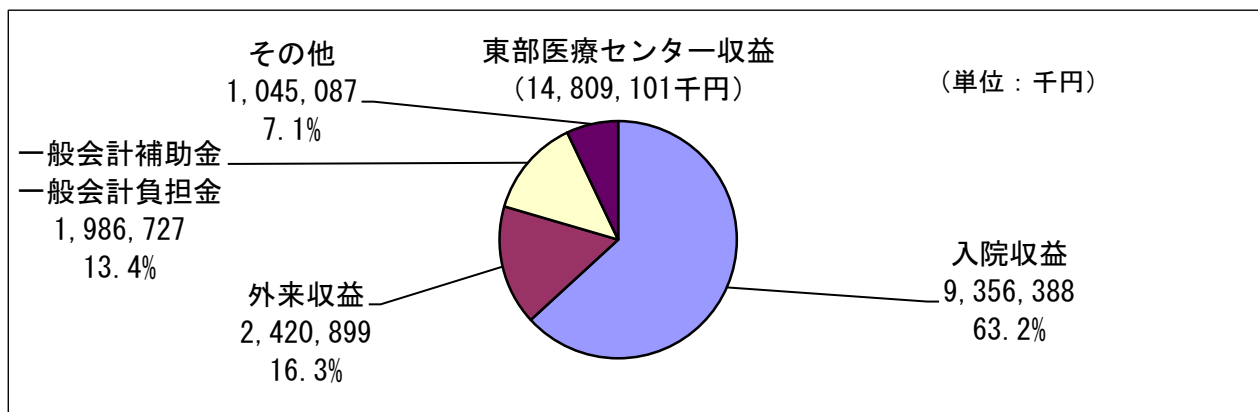
令和元年度における病院事業会計の収益的収支は、総事業収益は、前年度に比べ医業収益が増加したことなどに伴い、11億9千7百万円余増の342億6千9百万円余であるのに対し、総事業費用は、東部医療センター入院・診療棟の開設に伴い、旧棟の減損処理を実施することとし、減損損失を特別損失に計上したことなどにより、30億5千5百万円余増の370億2千7百万円余となりました。その結果、27億5千8百万円余の当年度純損失となり、当年度未処理欠損金は132億5千1百万円余となりました。

令和元年度は主な建設改良事業として、東部医療センターで病棟改築工事を行い、東部医療センターの高精度放射線治療装置、西部医療センターの放射線治療計画装置、緑市民病院の手術支援システムなど、各病院の設備充実にも努めました。

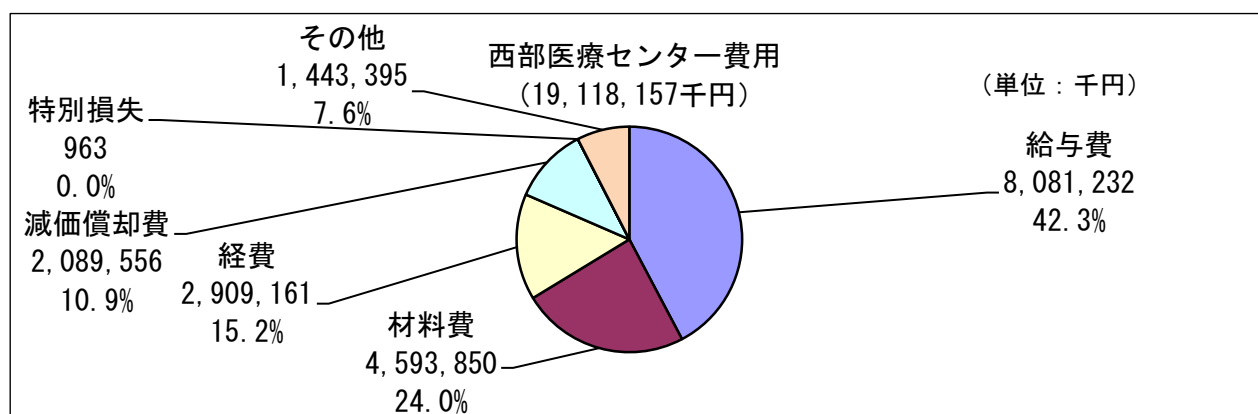
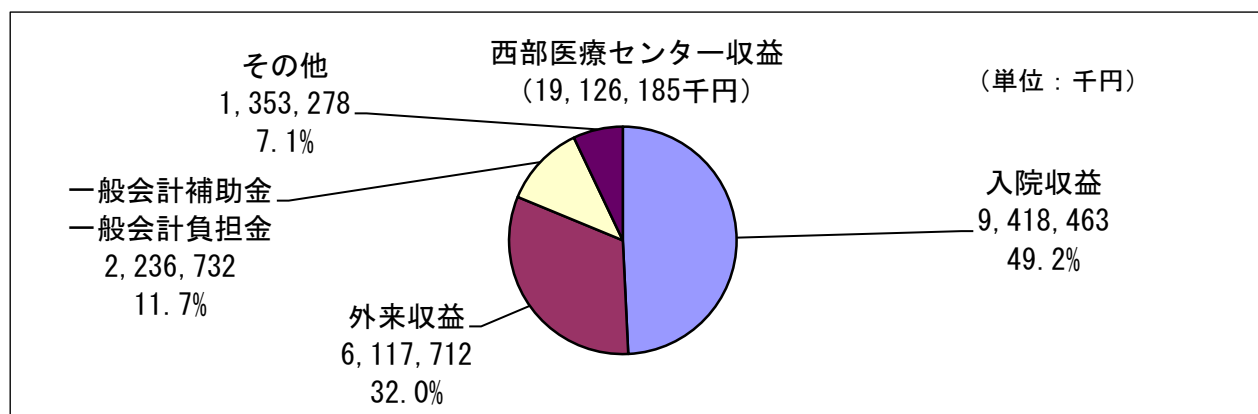


2 各病院の収支

(1) 東部医療センター



(2) 西部医療センター



(3) 緑市民病院

